

東京教区時報

第1100号
2008年11月9日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇11月の代祷・信施奉献先
▽笹島キリスト教連絡会のため
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(9日～15日)▽人権活動を支える主日(11月30日)
《奉献先から》

障害者週間

毎年11月の第2主日の週を、「障害者」週間として覚え、教会と社会における「障害者」の完全参加と平等を、NCC「障害者」と教会問題委員会が広く呼びかけていて、二つの祈り(二つは子どもの祈り)を全国の教会へ届けている。この委員会は、1981年国連が定めた「国際障害者年」をひかえた1979年3月のNCC総会で決議されて以来の活動。主な活動は学習会・講演会の主催、全国

キリスト教「障害者」団体交流セミナーの開催、韓国の「障害者」委員会との合同セミナーなど。教区ではこの委員会の他に、東京「障害者問題を考える集い」の働きにも奉献する。

堅信受領

9月28日 聖オルバン教会で

▽ユタカ・イワミ▽ミホ・イワミ▽カズエ・ゴトウ▽サナエ・シマダ▽アンドレア・ダイアン・ランジエント▽トシユコ・ペレティス▽メグミ・オビアン
ヨ▽マリィ・ナカイ▽リリー・ナカイ▽ヤスユキ・マツナガ(聖オルバン)

今週・来週の予定

11月9日～22日

- 9(日) 聖霊降臨後第26主日
主教巡回 三光教会
- 11(火) 銀座座敷委員会
常置委員会
インターネット～特別委員会
- 13(木) 月島～特別委員会
財政委員会
城南G牧師協議会(三光)
環状G牧師協議会
(立教諸聖徒)
- 14(金) 広報委員会
外濠G牧師協議会(諸聖徒)
- 15(土) 「調査チーム報告書」学びの会
(主教座)
- 16(日) 聖霊降臨後第27主日
主教巡回 聖マルチン教会
外濠G教会協議会(諸聖徒)
環状G教会協議会
(立教諸聖徒)
- 18(火) 山手G教会協議会(聖三一)
多摩G教会協議会(八王子)
モニカ会幹事会(神学院)
- 18(火) 礼拝音楽委員会
聖職養成委員会
- 19(水) 教役者レクイエム(主教座)
正義と平和協運営委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

聖路加看護大学の教員になってもうすぐ3年になる。家庭や職場の事情で医大を辞めた後、数年は子育てに専念した。経済的に恵まれ、可愛い子どももいて、何の不自由があったわけではない。しかし、用いられたい、活かされたいという魂の渴望が私を苛むのである。

就職も「計画

長松 康子

《恵みに生かされて》
が決まった。不思議なもので、聖路加に決まったとたんに断られた会社から仕事がいとも来る。迷いはなかった。私を一番に買ってくれたところで働くこと決めた。看護はハードな世界だからと覚悟したが、働き始めてみれば案外楽しくて仕方がない。常軌を逸した長時間労働、安い給与は全く苦にならない。目覚める朝ごとに、神様に用いられている喜びを感じる。

「仕事をさせてください」と祈る日が続いた。40歳の時、一念発起して職探しに挑んだ。どんな仕事でもよかった。ところが、どの仕事も最後の最後で若い人にさらわれてしまう。落胆した私に恩師が、国際看護学の教員ポストを紹介して下さり、とんとん拍子に話

で働くとは考えもしなかった。全く神様のご計画の深さを思い知らされる。人は自分でなろうとして、何かになれるものではない。ただ、神様のご計画とお恵みによって生かされていると感謝するのみである。

(聖路加看護大学助教)

▽立教女学院聖マーガレット
礼拝堂・聖マーガレット教会合
同礼拝「聖マーガレットの日」
に近い11月16日(日)10時半、
同院聖マーガレット礼拝堂(聖
マーガレット教会誕生の地)で
行う同教会創立記念礼拝。説教
||田光信幸司祭、奏楽・指揮||岩
崎真実子、合同聖歌隊の奉唱。

▽ナザレ修女会黙想会 「主
のご降誕を迎える心の準備を
:」と、11月27日(木)10時半
から同会聖家族礼拝堂で。携行
品は祈禱書・昼食。申込みは24
日までに。TEL0422(48)
4560。

▽聖公会神学院短期集中講座
《アングリカニズム特別シンポ
ジウム》12月に京都で開催さ
れる世界聖公会エキュメニカル

関係常置委員会に来日する神学
者のうち4師を講師に招き、「聖
公会のアイデンティティとアン
グリカン・コミュニオン在未
来」と題する講座(5セッション)。
12月10日(水)10時~11
日(木)12時20分、同院で。費
用1万円(宿泊費別・昼食各自
負担)、部分参加||各セッション
2千円。定員||各セッション40
人・申込先着順。申込締めは11
月30日(日)。TEL03(3701)
0575。

▽NCC「障害者」週間(11
月9日~15日)の集い 8日
(土・10時~15時・横浜ニューラ
イフバプテスト教会)の集いで
は、日高馨輔執事(日本盲人キ
リスト教伝道協議会議長)が講
師を勤める。また22日(土・14

時~16時・聖バルナバ教会)に
は日韓キリスト教「障害者」合同
交流セミナー参加者による報告
会が開かれる。

▽五本木九条の会(憲法を学
ぶ講演会31) 聖パウロ教会で
11月26日(水)18時半~。対人
地雷のない世界の実現に向けて
~地雷廃絶キャンペーンの取組
み~||講師・内海旬子同キャン
ペーン事務局長。照会TEL090
(8044)8524・九条の会
事務局。

▽11月ランチタイム・オルガ
ンコンサート *聖パウロ||14
日(金)12時20分、佐藤礼子
*聖テモテ||18日(火)12時30
分、向井泰子 *神田キリスト
||19日(水)12時20分、木田み
な子 「入場無料」

【学びと働きから】90

ミャンマーサイクロン

被災者支援について

5月2日にミャンマーの南部
地域を襲ったサイクロン「ナギ
ス」は現地に大きな被害をもた
らした。ミ政府が正確な発表を
しないので被害規模は掴めない
のだが多くの人命を奪い、家
屋・畑・家畜など全てを失った。

9月下旬にミ聖公会パアン教
区主教按手式に出席した際に、
ヤンゴンで現地関係者と災害緊
急支援の進捗状況の確認をし
た。ミ政府は海外の人材の被災
地視察を禁じており、現地の人
でも自由に行動が出来ない故、
支援活動は制限の範囲内で行わ
れている。交通事情も極端に悪い。
被災家庭には当初、家屋(高床

式で竹の柱と床、屋根は椰子の
葉を編んだもの)修理のための
竹、ブルーシートと医薬品・食料
品をセット配付した。米作が出
来ない状態の今、米は毎月継続
して配付する必要がある(自作
が出来るまで約1年間は継続
要)。現時点では復興の目途はな
く、未だに緊急支援モード。いざ
それは水牛、豚、鶏などの家畜や果
実の樹木を配付したりすること
になろう。一方、精神的なケア
が必要で重要であるが、残念な
がらそれほど手がつけられてい
ない。実際、支援活動に関わっ
ているのはヤンゴンにいる限ら
れた管区事務所職員と現地の住
民だけで、確実ではあるが少し
ずつしか進まない。政府の支援
は全く届いていない。

海外聖公会からの支援金はミ
政府コントロールによる送金の
困難な状況を考慮して、一旦シ
ンガポール教区内の設定口座に
振り込み、現地へ送金。同口座に
は米国、英国、オーストラリア、
南西アジア、日本など各国聖公
会が献金している。今までに日
本聖公会が送金した額は、緊急
災害援助資金と皆様の献金額を
加えて476万円強。今後の課
題は復興に向けて資金と人材を
確保すること。ミ聖公会の人を
中心に始動していて、日本聖公
会管区事務所はその募金が始
められた際、皆様に協力をお願い
することだと…。その際はぜひ
ご理解とご支援を…。

八幡真也
(日本聖公会管区事務所渉外主事)